

所 属	文化振興課
所属長	曾田 研之介
電 話	06-6489-6385

白髪一雄発信プロジェクト！

宮崎県立美術館で「尼崎市コレクション 白髪一雄 ー行為にこそ総てをかけてー」を開催

1 趣旨

尼崎市では、本市ゆかりの画家で、世界的に高い評価をされている白髪一雄氏の作品や人物像などを全国に発信していくため、「白髪一雄発信プロジェクト」として、本市などが所蔵している白髪氏の作品やゆかりの品などを、本市が共催または協力して全国の主要な美術館での展示を行っています。

この度、宮崎県立美術館において、5月28日より、同美術館との共催で「尼崎市コレクション 白髪一雄 ー行為にこそ総てをかけてー」を開催します。本市が所有している作品や寄託を受けている関連資料、市民が所有する作品などを約70点展示します。初期の風景画から、徐々に抽象へと変化した1950年代の油彩、白髪の代名詞と言える足で描いた躍動感溢れるアクション・ペインティングの大作に加え、白髪が実際に使用したロープや画材などの資料によってその画業を辿ります。さらに、宮崎県を訪れ制作した作品や、当時の資料も紹介し、白髪と宮崎の知られざるつながりに迫ります。

なお、「白髪一雄」発信プロジェクトは、本市が令和元年より取り組み、これまで青森県立美術館や東京オペラシティアートギャラリー、高松市美術館で開催し、今回で4回目となります。

2 展覧会概要

会 期：令和4年5月28日(土)から7月3日(日)

会 場：宮崎県立美術館（宮崎市船塚3丁目210番地）

時 間：10時～18時

※展示室への入室は17時30分まで

※月曜日休館

入 場 料：一般 800円、高校・大学生 400円、中学生以下無料

問 合 せ：尼崎市文化振興課（平日のみ8時45分から17時30分）

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

主 催：宮崎県立美術館、尼崎市、宮崎日日新聞社

協 力：公益財団法人尼崎市文化振興財団、株式会社ログキャビン、現代っ子センター、アートトランジット株式会社

後 援：宮崎県市町村教育委員会連合会、公益財団法人宮崎県芸術文化協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、夕刊デイリー新聞社、MR T宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、宮崎サンシャインエフエム、ケーブルメディアアワイワイ、MCN宮崎ケーブルテレビ、BTV株式会社

3 関連イベント

(1) 講演会「白髪一雄 ーその人と作品」

講 師：平井 章一(関西大学文学部教授)

日 時：6月12日(日) 14時～15時30分

会 場：宮崎県立美術館 1階 アートホール

定 員：先着50名 / 無料

申 込：5月11日(水)10時から電話（0985-20-3792）またはネット申込
<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/rbC5QZ61>

(2) レクチャートーク「白髪一雄の宮崎での足跡」

講 師：古賀 昌美（宮崎県立美術館担当学芸員）

日 時：6月18日(土) 14時～15時

会 場：宮崎県立美術館 1階 アートホール

定 員：先着50名 / 無料

申 込：5月18日(水)10時から電話（0985-20-3792）またはネット申込
<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/pvuDHmI1>

(3) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：5月28日(土)、6月4日(土)、25日(土) 14時～15時

会 場：宮崎県立美術館 2階 企画展示室 ※要観覧料

4 ペア招待券プレゼントについて

会場は宮崎県ですが、尼崎市民のみなさまにもぜひ鑑賞していただきたく、先着5組10名の方に招待券を差し上げます。

対 象：尼崎市在住・在勤の方

受付期間：5月9日(月) 8時45分より受付開始

申込方法：電話またはメール・FAXで申込

※メール・FAXで申込の場合、件名に「白髪発信プロジェクト招待券申込」、
本文に代表者の住所（または勤務場所）・氏名・電話番号を記載。

電 話：06-6489-6385

（尼崎市文化振興課・平日のみ8時45分～17時30分）

F A X：06-6489-6702

メール：ama-event@city.amagasaki.hyogo.jp

以 上



《天雷星撲天雷》1963年 尼崎市蔵

尼崎市コレクション

白髪一雄

一行為にこそ総てをかけてー

白髪一雄と宮崎の知られざるつながりに迫る

2022 5.28 (土) ▶ 7.3 (日)

[開館時間] 10:00 ~ 18:00 (入室は17:30まで) [休館日] 月曜日

[観覧料] 一般 | 800(600)円 高校・大学生 | 400(200)円 中学生以下 | 無料

●()内は20名以上の団体、全教互会員カード、JAFカード、SD(セーフドライブ)カードをご提示の方(提示者含め5名まで)、ちらし等割引券ご利用の方●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、マイロIDをご提示の方、本人とその介護同伴者1名は無料

[主催] 宮崎県立美術館、尼崎市、宮崎日日新聞社

[協力] (公財)尼崎市文化振興財団、株式会社ログキャビン、現代の子センター、アートランジット株式会社

[後援] 宮崎県市町村教育委員会連合会、(公財)宮崎県芸術文化協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、夕刊デイリー新聞社、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、宮崎サンシャインエフエム、ケーブルメディアワイワイ、MCN宮崎ケーブルテレビ、BTV株式会社

 宮崎県立美術館
MIYAZAKI PREFECTURAL ART MUSEUM
〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地
TEL 0985-20-3792 FAX 0985-20-3796

「扇形を描く白髪一雄とサポートする白髪富士子」1965年
写真提供:公益財団法人尼崎市文化振興財団
サブタイトル:白髪一雄「行為こそ」【具体】第3号(1955年)より



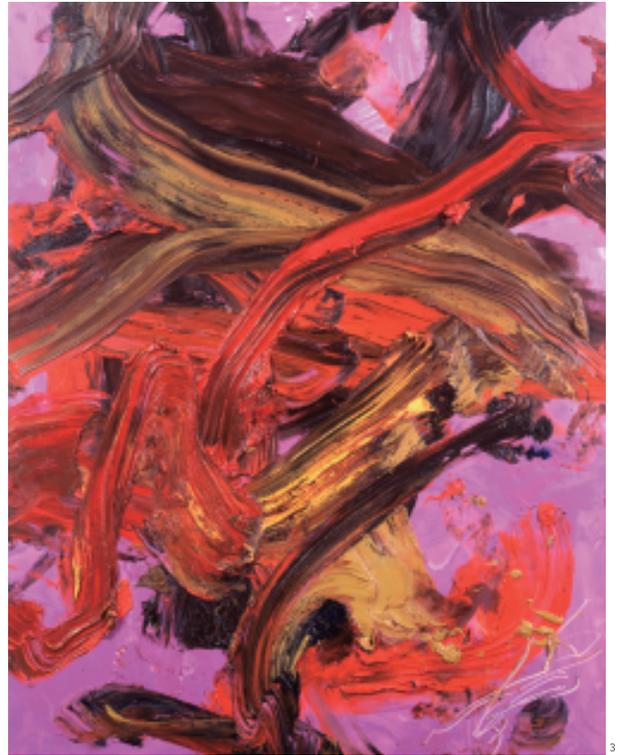
本展は、兵庫県尼崎市が所蔵する抽象画家・白髪一雄(1924-2008)のコレクションを全国の美術館で紹介する「白髪一雄発信プロジェクト」として開催するものです。

白髪は床に広げたキャンパスに絵具を置き、その上で天井から吊したロープにつかまり、素足で描く独自のアクション・ペインティングを確立したことで知られています。戦後、関西で結成された前衛美術グループ「具体美術協会」の中心メンバーとして活躍し、行為の軌跡がそのまま画面に刻み込まれたダイナミックな作品は、国際的にも高い評価を得ました。また、密教に関心を持ち、厳しい修行を行った白髪作品には、全身の力で格闘した生々しい身体性と、修行を通して培った深い精神性が同居し、観る者を圧倒します。

本展では、初期の風景画から、徐々に抽象へと変化した1950年代の油彩、白髪の代名詞と言える足で描いた躍動感溢れるアクション・ペインティングの大作まで約70点の作品に加え、白髪が実際に使用したロープや画材などの資料によってその画業を辿ります。さらに、宮崎県を訪れ制作した作品や、当時の資料も合わせて紹介します。

「行為にこそ絵ををかけて」と、絵画の中に自ら入り込み行為そのものを表現した、白髪一雄の世界をご堪能ください。

1.《尼崎西本町三丁目付近》1947年 2.《難航》1949年 3.《天女の舞》2000年 4.《大威徳尊》1973年 5.《密呪》1975年 6.《群青》1985年 尼崎市教育委員会(尼崎市立尼崎高等学校)蔵 1-5は尼崎市蔵、文:白髪一雄「超現代三番受」「具体」第7号(1975年)



関連イベント

◆ 講演会「白髪一雄—その人と作品」
 講師 | 平井 章一(関西大学文学部教授)
 日時 | 6月12日(日) 14:00 ~ 15:30
 会場 | 1階 アートホール 定員 | 50名(先着順)
 申込 | 5月11日(水) 10:00 から電話(0985-20-3792)
 またはこちらの二次元バーコードから受付 ※参加無料



◆ レクチャートーク「白髪一雄の宮崎での足跡」
 講師 | 古賀 昌美(本展担当学芸員)
 日時 | 6月18日(土) 14:00 ~ 15:00
 会場 | 1階 アートホール 定員 | 50名(先着順)
 申込 | 5月18日(水) 10:00 から電話(0985-20-3792)
 またはこちらの二次元バーコードから受付 ※参加無料



◆ 学芸員によるギャラリートーク
 日時 | 5月28日(土)、6月4日(土)、25日(土) 14:00 ~ 15:00
 会場 | 2階 企画展示室 ※要観覧料

アクセス

- ◆ JR宮崎駅から
 「西1番のりば」発の宮崎交通バスで4分、「山形屋前」で下車し、「ホテルルートイン宮崎橋通」で「文化公園」「古賀総合病院」「国富」「綾」「酒泉の杜」行等に乗換え9分、「文化公園」または「文化公園前」下車すぐ
- ◆ JR宮崎神宮駅から
 タクシー5分、徒歩約20分



200円 割引券
 点線で切り取り、1階インフォメーションまでお持ちください。
 この券1枚で5名様まで使用できます。
 ※他の割引との併用はできません。一般[]名 高・大生[]名

！ イベント等の中止や変更が生じる場合があります。
 お出かけの際は、宮崎県立美術館 Facebookで最新情報をご確認いただくか、事前にお問い合わせください。